

造形通信

2025. 1月
NO.73
ひいらぎこども園



2025年が始まりました。まだまだ寒さは厳しいです。しかし、この寒さにも負けず、元気なのはやはり子どもたちです。寒さにも負けず、インフルエンザにも負けず、今年の冬を乗り越えていきたいものです。子どもたちと一緒に暖かい風の吹く春を心待ちにしたいです。

季節を感じる活動

年長組の部屋には、たくさんの絵馬が飾ってあります。中にはその子らしい『へび』の絵が書いてあります。自分の願い事が書いてあるものもありました。願いがかなうといいですね。

子どもたちのまわりに季節の自然や行事、食べ物等、四季を五感で感じられるものが常にあふれていることはうれしいことです。そんな環境の中で、子どもたちの感性は育っていきます。

描く

作る

遊ぶ

書初め

黒い絵の具を筆にたっぷりつけて、筆をぐるぐる動かしていきます。白い大きな紙の上を筆が勢いよく動いていきます。手首を動かしながら、大胆に描く姿は、真剣そのもの。緊張する時間、大事ですね。形にこだわらず、思い切り筆を動かす素敵な体験です。



れんげ組

福笑い

先生の手作りの福笑いであそんだよ



ニョロニョロへび作り



こま作り

自分ではっていきます

たんぼぼ組



できたこまをまわして遊びます

手先を動かして何かを作るとは、とても大切なことです。身近にあるものや廃材を使って、何を作ろうかなと考えたり、こんな風にすればおもしろいよと工夫したり、こんなふうになれば、こうなるかもと想像することは、とても楽しい時間です。こども園で過ごす今の時期が一番大切な時です。手先を使って、頭を使っていろいろな経験をしてほしいです。

たんぼぼ組のお友達は紙皿にシールを貼って、コマを作りました。年齢の小さなこどもたちも身近な物を使って、お正月遊びを楽しんでいます。

へびに色をつけていきます

すみれ組

先生にハサミで切ってもらい、ひもをつけると、ニョロニョロへびができあがり。動かして遊ぶのが楽しいね